

頑張る町民たち

ボランティアや伝統文化、芸術など、さまざまな分野で活躍を続ける町民を紹介します。

着物一筋
35年
兼子和子さん
(北今泉)



生涯学習は、一人一人が生きがいをもって暮らせるまちづくりを進めようと各公民館や中部コミュニティセンターでさまざまな教室を開講し、行われています。その生涯学習の拠点のひとつとなる白里公民館で着付け教室の講師として、町民に着物文化を伝える兼子和

「35周年記念感謝の集い」を誕生日に盛大に行った兼子さんはこれまでの道のりを振り返り、「改めてその重みを実感しています。また、愛する郷土で続けられてきたことを光栄に思っています」と多くの人々に支えられてきたことに感謝しながら語ってくれました。

日本の伝統文化である美しい着物。その素晴らしさをこれからも多くの町民に伝えてくれることでしょう。

子さん。現在毎月2回、着物の基礎知識や礼法の指導にあたっています。兼子さんは教室を開講し始めてから、35年を経過。これまで「花嫁修業に」や「資格をとりたい」などといった生徒を何百人も育ててきました。

あのときの悔しさをばねに

山岸禮子さん
(永田)



町文化協会の理事を務めるとともに町美術会に所属し、二科展で入選した経歴を持つ山岸禮子さん。平成18年のふるさと美術展に出

品展示されたこともある山岸さんの画「風に包まれて」が、フランスの絵画雑誌「UNIVERS DES ARTS」に大きくとりあげられました。またこの作品はアルゼンチンで公開され、友好100年祭の展覧会でも受賞。多くの喝采を浴びました。山岸さんは、引っ込み思案のため何か1人でできる趣味をとの思いから絵画を学び始めました。専門の学校に通っていないので悔しい思いをしたときもありましたが、約40年間絵を描き続けてきた山岸さんは、「絵を始めたことで生活に張りがあった。今は絵を描くことが楽しい。今後も人物にこだわって書いていきたい」と語ってくれました。

人生のセカンドステージをグアテマラで

小松秀世さん(大網)



シニア海外ボランティアは海外の途上国での支援のため、平成2年に外務省と国際協力事業団(JICA)により開始された事業です。工業技術、中小企業育成、農村・地域開発、教育、医療等の分野で、優れた技術・知識、豊かな経験を持つ中高年齢層が活躍しています。本町大網に在住の小松秀世さんも南アメリカにあるグアテマラの独立中央政府機関・地方振興庁に2年間赴任を予定。グアテマラの最重要課題の良質な飲料水の確保に、培ってきた幅広い技術・知識と経験を生かしながら努めるとともに、人材育成を通じて国づくりを支援する技術協力をを行います。

プロ野球・横浜ベイスターズ入団 「松本啓二朗選手」が町長を表敬訪問



プロ野球の横浜ベイスターズに入団する早稲田大4年の松本啓二朗選手(みどりが丘)が両親と共に8日、堀内町長を訪ね、今後の活躍を誓いました。

松本選手は、父・吉啓さんが監督を務める千葉経済大付属高校に自宅から通い、エースで4番とチームの大黒柱として活躍。三年生のときには甲子園に出場し、4強入りも果たしました。昨年10月に開かれたドラフト会議で阪神タイガースと横浜ベイスターズに1巡目指名を受け、抽選の結果、横浜ベイスターズが交渉権を獲得し、入団を決めました。千葉県野球協会の副会長を務め、過去には松本選手を応援するために甲子園まで自分の運転でかけたこともある堀内町長は冗談交じりに、「いずれはメジャーに行くの」と聞くと、松本選手は苦笑い。また、松本選手が「目標はイチロー選手。開幕1軍を目指し、年間を通してその日その日を、足元を見ながら頑張りたい」と今後の抱負を語る。堀内町長は「松本君は本町の期待の星。苦しいときはふるさとを思い出して頑張ってください。期待している」とエールを送りました。皆さん、松本啓二朗選手の活躍を期待しつつ、応援をお願いします。

大会に気合十分不安なし

増穂中卓球部女子が関東大会へ



増穂中学校卓球部女子(部員21名)が、12月13・14日に成田市中台運動公園体育館で行われた千葉県中学校新人体育大会卓球競技女子団体戦で第3位の成績を収め、2年連続となる関東中学校選抜卓球大会出場の切符を手にしました。厳しい練習に耐え、出場権をつかんだ部員たち。大会を前に2年生で部長の榎澤明里さんは、「いまままでお世話になってきた人のためにも、悔いのないよう頑張りたい。1戦1戦に集中していきたい」と意気込みを語ってくれました。第16回関東中学校選抜卓球大会は3月14・15日に栃木市総合体育館で行われます。皆さん、増穂中卓球部女子の応援をお願いします。